

豚繁殖・呼吸障害症候群陰性の農場における豚熱ワクチン 接種時の抗体応答に移行抗体が与える影響

下田智彦^{1)†} 入江拓也¹⁾ 戸塚麻喜²⁾ 川島 豪²⁾
市川隆久³⁾ 迫田義博⁴⁾



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/77/8/77_e81/_article/-char/ja

- 1) 三重県南勢家畜保健衛生所 (〒 515-0217 松阪市早馬瀬町 83-2)
- 2) 三重県中央家畜保健衛生所 (〒 514-0061 津市一身田上津部田 1742-1)
- 3) 三重県畜産研究所 (〒 515-2324 松阪市嬉野町 1444-1)
- 4) 北海道大学大学院獣医学研究院微生物学教室 (〒 060-0818 札幌市北区北 18 条西 9 丁目)

(2023 年 12 月 20 日受付・2024 年 4 月 8 日受理・2024 年 8 月 3 日公開)

要 約

国内で実施されている豚熱ワクチンの免疫獲得（テイク）には、ワクチン接種時の移行抗体が影響する。そこで豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）陰性農場において、子豚の移行抗体価と抗体応答の関係を調査した。その結果、移行抗体は、ワクチン開発時に明らかにされていたよりも中和抗体の産生量に負の影響を及ぼした。一方、ワクチンのテイク率は開発時に明らかにされていた成績と同程度であった。また、豚熱ワクチンを 2 回接種した群や豚サーコウイルス 2 型感染症に対するワクチンを事前に接種した群におけるワクチンテイクの正の効果は限定的であった。以上の結果から、PRRS 陰性農場において豚熱ワクチンの接種による抗体産生に移行抗体が影響を及ぼすことが分かり、移行抗体を考慮して適切な時期にワクチンを接種することの重要性が再確認された。

——キーワード：豚熱，移行抗体，中和試験，豚繁殖・呼吸障害症候群，ワクチン。

----- 日獣会誌 77, e81～e88 (2024)